

単元名 あそびに いこうよ(雨)

配当時間 2時間

単元の目標 (1) いろいろな人々が公園を利用していることや、自然を利用したり遊ぶ物を作ったりすることの楽しさに気付くことができる。
(2) 遊び方を工夫したり、自分が楽しんだ遊びや感じ取った自然の様子を考えたり、表現したりすることができる。
(3) 四季の移り変わりに関心を持ち、自然や人々と関わりながら季節に応じた遊びを楽しもうとする。

標準的な展開例

01060104_001

【準備等】記録カード、長靴、雨傘、レインコート、バケツ、瓶、缶 等

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 雨の日の景色や植物を観察したり、雨の日の遊びを楽しんだりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 雨の日は、晴れの日と比べてどこが違うか話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 空が暗いです。雲が黒いからです。 ・ 濡れるので外では遊べません。 ・ 雨が降るとザーザーやポツポツと音がします。 ★ 雨のすてきを見付けよう <p>○ 外に出て、雨の景色や様子、遊びを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 葉っぱの上の雨粒がきらきらしているよ。 ・ 空き缶に入った雨はカンカンって鳴っているよ。 ・ 水溜まりが鏡みたいになっているね。 ・ 水溜まりに入ってみよう。 <p>○ すてきに思ったことを1つ選んで記録カードにかく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 葉っぱやクモの巣に付いた雨がきれいでした。 ・ すてきな音を見付けました。雨がバケツや空き缶に入っているいろいろな音がしました。雨の音楽会みたいです。 <p>○ かいたことを伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雨が降っている日に授業を設定する。 ・ 長靴、雨傘、レインコートが必要であることを事前に家庭に連絡しておく。 ・ 雨の音を感じられるようなバケツや瓶、缶などを用意しておく。 ・ 雨の日の景色や植物、生き物、自然の変化に関心をもたせ、めあての提示につなげる。 ・ 雨はどんな形や音、匂いをしているか問いかけ、雨の日ならではの自然があることを見付けることを伝え、活動の見通しをもたせる。 ・ 傘を差して外に出る。 ・ 諸感覚を使って雨の日の自然の様子や、雨の日の楽しい遊びを見付けるよう見守る。 <p>・ 景色や音色、植物や生き物の様子、遊びなどのさまざまな観点から気付いたことをかくように伝える。</p> <p>【評】 自然との触れ合いで気付いたこと、記録カードを通して「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価し、雨のよさや遊びを見つける活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】

・ 二次元コードを読み込み、雨の日や雨上がりの様子を確認するとよい。
・ 「あそびに いこうよ(春) (夏)」や、「あきを たのしもう」、「ふゆを たのしもう」の単元と関連させながら指導するとよい。